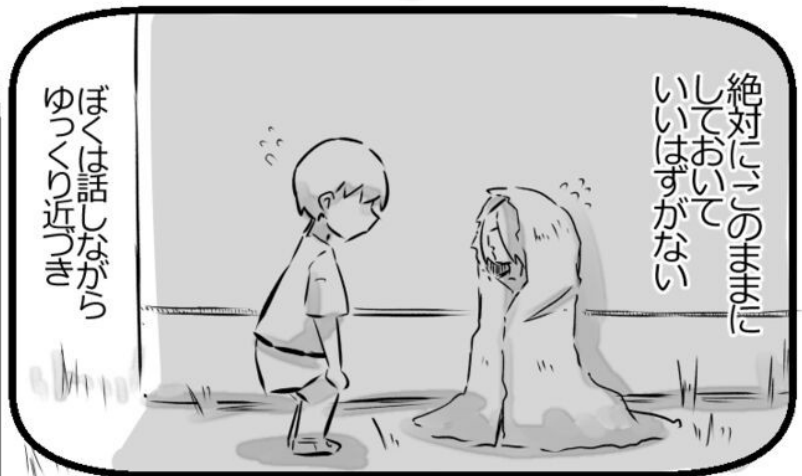
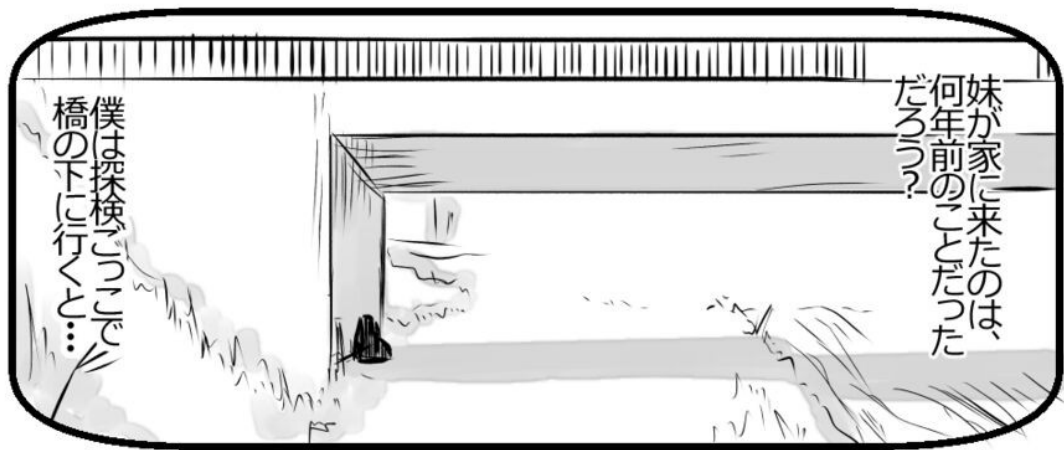


ラブラブあまあまハッピーエンドな話
【総集編】



オリジナル成人向け漫画4作品
+
書き下ろし漫画24p

合計142pの総集編





しっぽがあつたのだ

かつこいー!

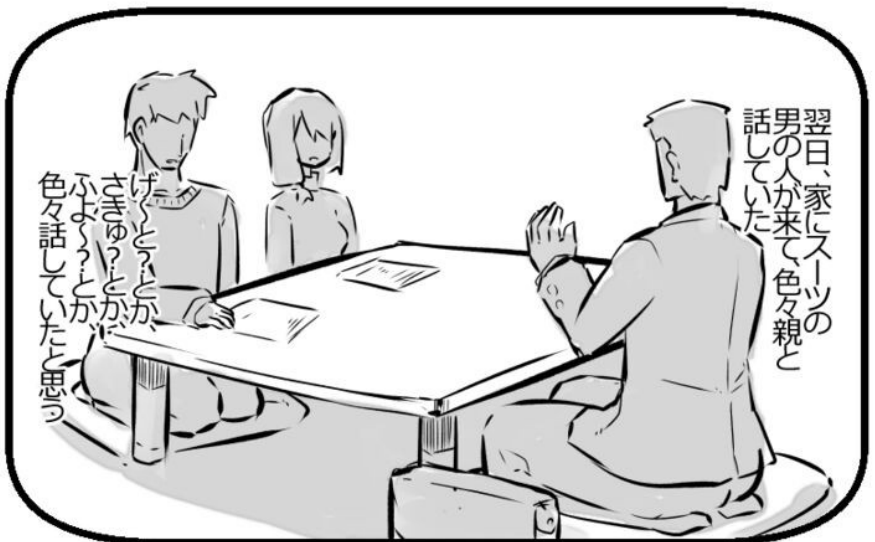


ぼくの親は、
寝てくれた上
すぐに相談に
乗ってくれた

ありがとうー



情けないけれど
ぼくが出来ること
親に頼るといかなかった



翌日、家にスーツの
男の人が来て色々親と
話していた

げんどうとか、
さきゆ?とかが
ふよふよとか
色々話していたと思う



妹欲しくない?

男の人と話した後、
お母さんとお父さんは
ぼくに

とぼくは会えた

と聞かれたので

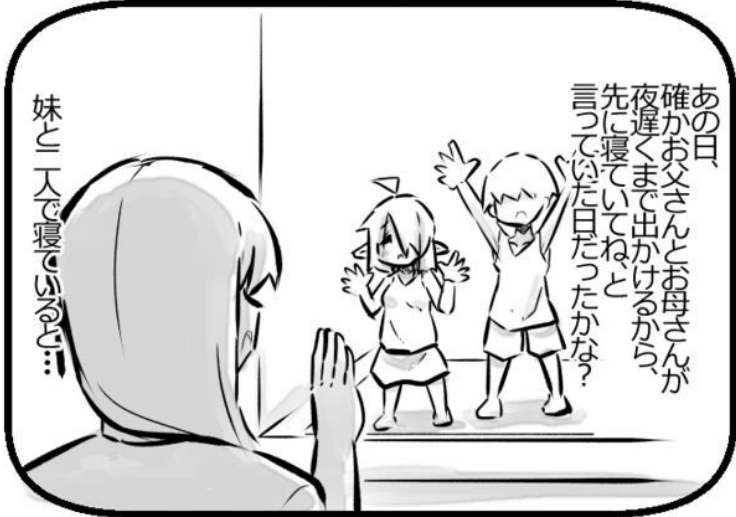


うん!



でも..
たまに妹が
ぼくを
見るとき

すごく、
熱っぽい目を
していた気が
する



あの日、
確かお父さんとお母さんが
夜遅くまで出かけるから、
先に寝ていてねと
言っていた日だったかな?

妹と入で寝ていると..!



ぼくに妹ができた!

妹はおとなしく、
少し気が弱いけど、
毎日一緒に遊び、
やさしいやつだ、
すごく仲良しだ

ある日、妹はすぐ
申し訳なきように
謝ってきた

これからは
エッチは控えると…

ごめんない…

ごめんない…

ぼくは、妹一人満足
させることができない、
ダメな兄になってしまう

妹にこれ以上悲しい顔を
させてはならない

兄として
強くなり
たいのだ

ぼくは、妹をもっと
満足させてあげるべく
トレーニングを開始した

いろいろ頑張つて
ぼくは強くなった

強いちんちんと
妹を満足させられる
体力を手に入れた
のだった

…なぜちんちんが
でかくなった？

これには妹も
につこりだつた

兄として、嬉しい！

妹は、口いつぱいに
ちんちんを頬張ると

夢中になって、
すぐくわれしように
しゃぶってくれる



でも兄として
妹の成長は
嬉しいのだった



あれから数年...

妹もすっかり
成長した...
のかな?

背はあまり
伸びていない

でも同じ年の子と比べて、
すぐおっぱいが大きいと思う



妹の性欲は
とどまることを
知らないみたいだ

すきい♡

おにい♡

おにい♡



体が大きくなっても
甘えん坊なのは変わらない

おにい♡

おにい♡

おにい♡

たぶん♡



もっく
つよくおっばい
もっくでん...

おにい〜♡

えん♡

えん♡

ふにふにっ
もんでいて
すごく楽しい

妹もおっばい
いじりには
弱いようだ

ぎゅ♡

キミ♡

むにい♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

キミ♡



3時間後...

あああ♡
あああ♡
ああ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

ばち♡

ばち♡

ばち♡
ばち♡
ばち♡

妹のおつきい
おっばいを重点的に
いじってあげる

ぎゅ♡

ばち♡

ばち♡



後日もう一度と
せがまれたほどだ

妹はのけぞって
反応してくれた

お♡

お♡

お♡

び♡

び♡

び♡

び♡



5時間後...

ふさふさ♡
ふさふさ♡
ふさふさ♡

ガ♡

ガ♡

ガ♡

ガ♡

ガ♡

ガ♡

ガ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

妹を羽交い絞めにして
思いっきり攻める

ガ♡

ガ♡

ガ♡

ガ♡

ガ♡



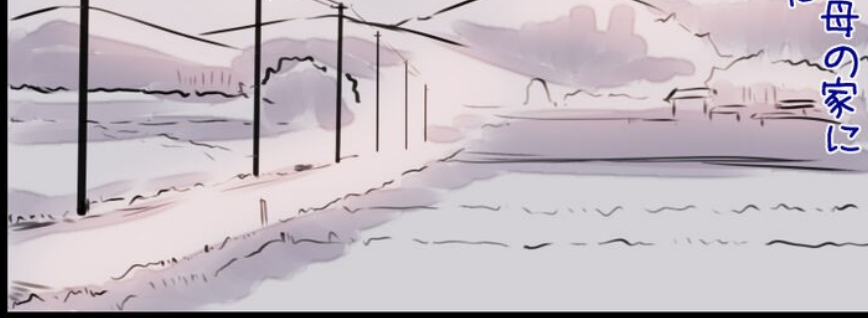
田舎の元気なサキュバスちゃん と相棒と呼び合う仲になる話



ある夏休み、ぼくは祖父母の家に
預けられることになった

両親が仕事の都合で
家を空ける必要が
あったからだ

ぼくは特に不満は感じず、
せっかくの機会なので
この夏休みを自然が
たくさん環境で
満喫しようと
心を躍らせていた



ブンブン

祖父母宅に到着し、さっさく荷物を
整理していると、けたたましい
ノックの音が響く
(チャイムは使わないようだ)

しかし高い声やその体つきは、
確かに女の子と主張していた

おじーちゃんのは
お前さんのな

髪は短く、元気な口調、一見まるで
男に見間違ふような外見をしていた

こいつと出会った

じーちゃんから
今日来るって
聞いてたからよ

よう、お前か？
都会から来た
ってやつは？

お！

祖父母の手が空いていなかったの
で玄關に向かうと...



それよりも...
とがった耳と

尻尾の存在が
何より特徴として
目立っていた

ま、なんでもいいから
遊びに行こうぜー！

俺が案内して
やんよ！







どうしちゃったんだ…
俺の体あ♡

相棒のことと思って
胸やまんこ触ると♡

頭とろけて♡
駄目になっちゃもう♡



相棒♡
相棒♡♡

じゅわあ♡

恥かしかったが
この不調を
母ちゃんに
相談すること
にした

そして

うふふ、その年で
出会えるなんて
すごい運ですよ！
流石あたしの娘ね♡

それーもしかして
「運命の人」ではないですか!?

えっどういう
ことだよ母ちゃん？

その日、俺は濡れて
ドロドロになった
股を隠しながら
帰ることになった

くやう…
相棒のせいだろ
絶対くやうだ！

うふふ、とにかく
その子、「相棒」ちゃん？
仲良くなりなさいね♡

よし、今まで
教えてませんでしたが、
あなたに「凄く仲良く」
なる方法 教えます！
あなたならやれます！

次の日

おいしい
相棒〜！

よう！
またせて
ごめんな〜

今日は秘密基地行かないか？

あれ？
今日は駄菓子屋行っちゃった？

ずい
ずい

…なんだろう？

今日のこいつは、
なんだか雰囲気
違うような…？

甘い匂いが？
気のせいだろうか？

グイ

え、えん？
そ、そうだったけ？
はは…ははは、
いいじゃないか！
行こうぜ！
行こうぜ！
行こうぜ！

グイ

ま、いいか…

ふん

ふん

ふん
ふん



なん今日は
何して
遊ぶ？

さて



着いた

やっぱり落ち着くな
ここは

ドサッ!

うわ!?



ど、どうした相棒!?

.....
な、なあ相棒.....

えっと.....
その.....
な.....?

お、俺と.....

俺と「本当の相棒」
にならないか?

ほ、本当の相棒って?

え、それは.....
えっとお.....



何となくだが
ぼくは察した

昨日までと
まるで違う
雰囲気と行動.....

誰かに吹き
込まれたのか?

いいいから!

じわり.....

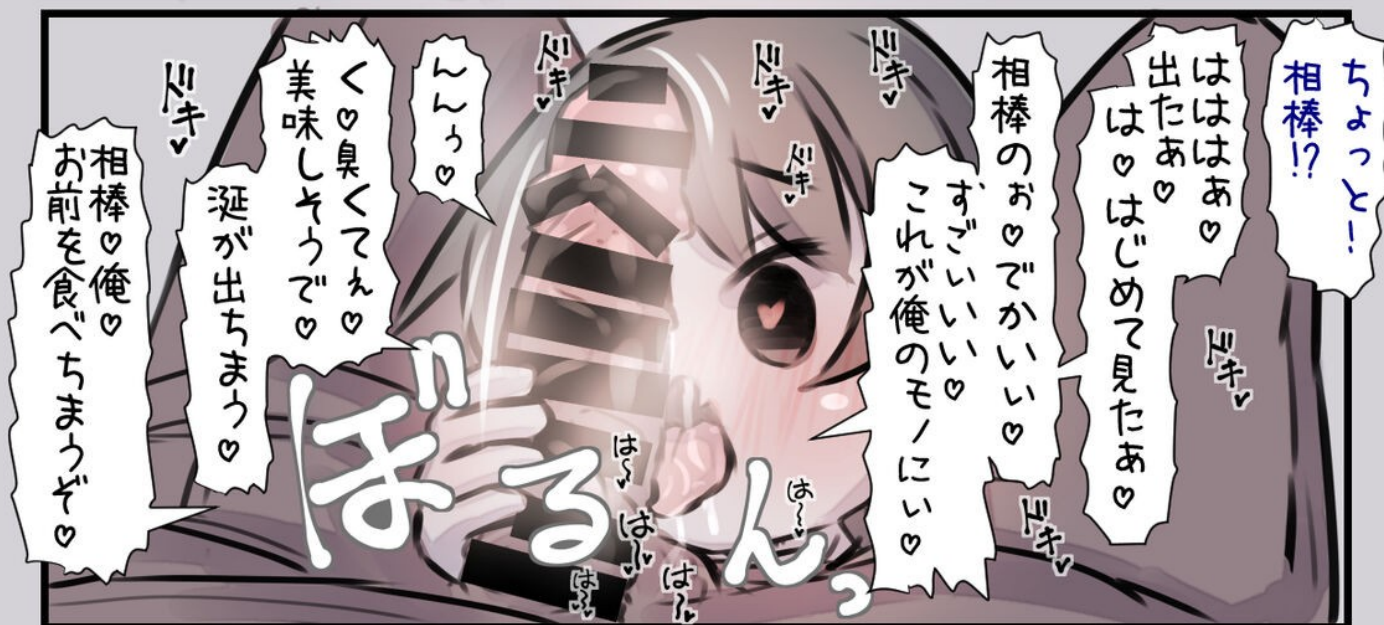
な、ならない.....か?

俺じゃ.....駄目か?

実を言うと.....

かなり前に
ぼくは相棒が
好きになってた

だけとこいつの
男友達みたいなの
ぼくへの押し方から
きういうことは
考えないように
していた





でなでな
母ちゃん！

そこの相棒が
すぐくてよ！

俺惚れなおしちゃったぜ！

うん
うん

うふふ♪
この子
相棒ちゃんが
来てから毎日
楽しそうです
なによりです

近所に同じ年
くらいの子、
いませんでした
からね



しかも友達って
だけじゃなく、私達
サキユバスにとつての
「運命の人」だなんて、
凄い偶然で素敵です…

それにしても…



いいなあ…

私にも昔
あんな時代が
ありましたっけ…



どれだけ相棒ちゃんと
相性がいいですかね？

シズン！
シズン！

ブッブッブッ

この子の魔力…
日に日にすごく増してる…



好きな人と好きなだけいれて…
そんな時代が…

相棒ちゃんには結局まだ
あったことないですけど…

…この子の「運命の人」だったら
母親の私だったらどうなって
しまうんでしょう…？

ま、まあ！
私ももうおばさんですし！
何年も相手いないですし！
いまさら本能が目覚めること
なんてありえないですけど！

でも…もしかして…

ってだめだめだめ!!
なに考えてるの!?

娘の大事な
お友達に對して!?
ふしだらな!

お、お母さん
買い物行ってくる
からね!

わかったら！
からちゃん
行ってるっしやい!

あつ俺も後で
出かけるかも!
一人で図書館!
相棒は用事あるって

気を付けてね!
戸締りちゃんとね!

おっ!

今日は無人販売所は良いもの
たくさんありましたねん!
リングがたくさん!

いいお肉も買えましたし!
あの子には精をつけてあげないとね♪

カッ!

ずてん

あわっ!?

あいたさー!

うわっ!?

あっ!?

お姉さん!?

大丈夫ですか!?

えっお姉さん!?

男の子の声?

ケガはないですか?

あはい...

あでも念のため

す

あら!?

小さい手...

あ、ありがとう

のあ
たた

あ、ありがう...

ふあ?

!?

お姉さん!?

大丈夫ですか!?

かはあっ!?

ふあ?♡

こあ?♡

グッ
キューン
キューン

す、すいませこ

やっ、ぬい怪我を!?

ぐんぐん♡

なにこれ？
なんなんですか？

この手に触れた
とたんに……

忘れてた
本能が
あふれて……

何十年ぶりの……
あのひと
触れ合った時の……

いえ……これは……
もっとすごい……？

えん？
こんな男の子に……？

こんな子近所に
いましたっけ……？

あの……
本当に
大丈夫
ですか……？

……あれ、
耳が尖って？

見たことない子ですが……

まさか……ね

あははははは……
お恥ずかしながら
ちよっと腰を
抜かしてしまいました……

ちよっと休めば
大丈夫ですので
お気になさらず……

えん？や、それは
大変です！
ちよっと安静に
していてください！
りんご拾って
きますね！

あの、もしよかったら
家まで荷物お持ち
しますよ？

いえ、ここまでして
いただくわけに……

いや……すいません、
すぐそこですの
お言葉に甘えさせて
いただきます……

任せてください！

あれ？今何を？

ガラガラ

あの、本当に
ありがとうございます

いえいえ！

つ、連れてきて
しまいました……
い、家まで……

だめ、この子に触れると……
すぐうずく……からだが……
うずいてしまいます……

……このままじゃだめです……
……こない子に……私……

冷静に……私、
冷静になるんです

もうそんな歳じゃ……

とん、とん、

あの、お姉さん、
もしかして……

はい？

……お、お姉さん！







おーおー

今日も来たよー
ありがたく思えよー

相変わらずシヨボくれた顔
してるねー

何突っ立ってんの？
私が何も言わなくても
さっさと準備しろ
んのぞ

ったくほんとぞろ

ちーの

ちーの



はーいー
じゃおチーゾー

私におにさん
繋がってるの、
記念に撮っておくさー

誰かに言ったらだめだよー

はーい...

ただただ盲目的に
この子に従っている
おれは確か2週間前...



突然すいませー

おの

はーいおにさん
おにさん外に出て

おにさん外に出た

おにさん外に出た

おにさん外に出た



何だこの子はっ
なんか痴気な子で派手なだけ...
可愛くてメタイルも物凄いなあ

おの、今日おにさん

おにさん外に出た

おにさん外に出た

おにさん外に出た

おにさん外に出た

×スガキママちゃんに わからせられて わからせて 分かり合う話



おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー



おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

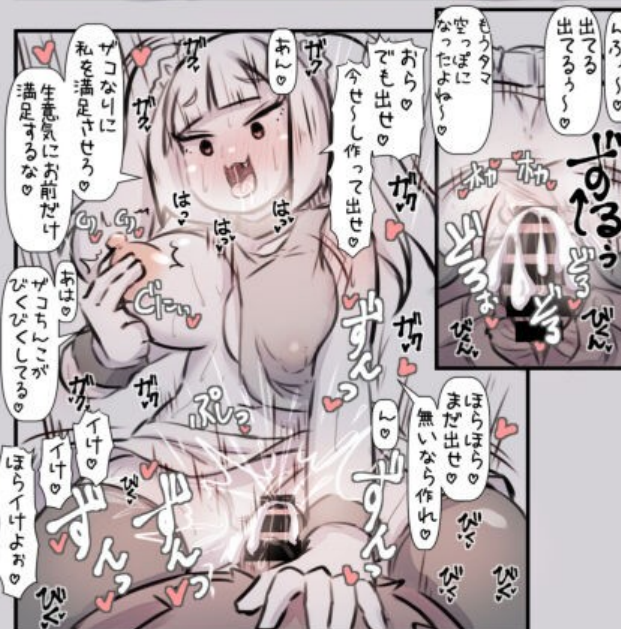
おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー



おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

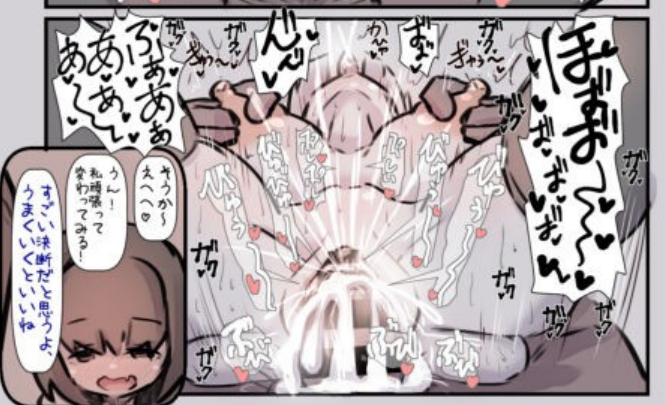
おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー



おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

おはー
まだまだ
出るさー

この子は何の前触れもなく
現れ、ぼくに話しかけてきた

あの〜

こんにちは〜

突然すみません〜

何だこの子は？
なんか垢ぬけてて派手だけど…
可愛くて、スタイルも物凄いなあ

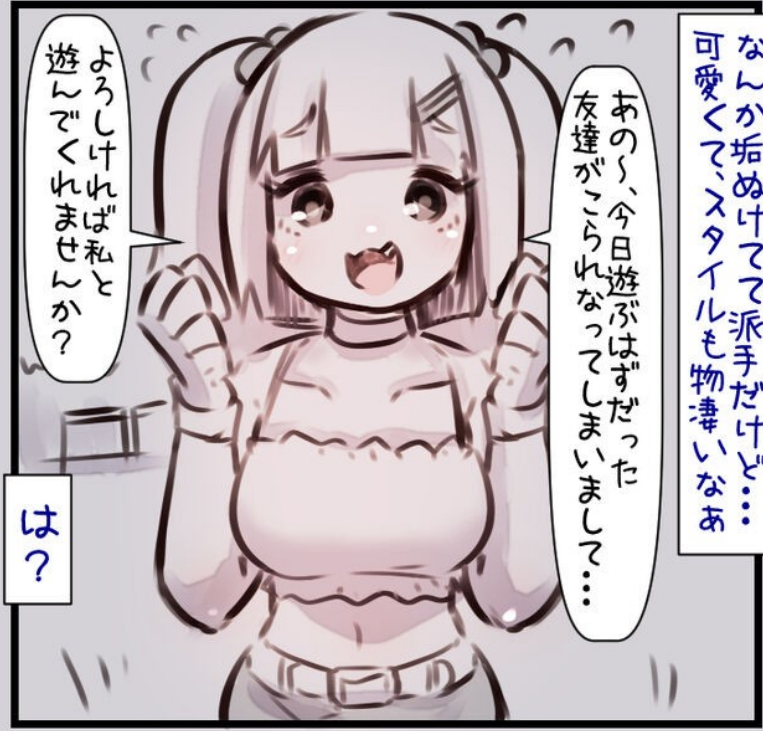
あの〜、今日遊ぶはずだった
友達がこられなくなってしましまして…

よろしければ私と
遊んでくれませんか？

は？

ぼくはちょっと
息抜きに外に出て

たまに行く公園の
ベンチでぼくっと
していたところだった



流石に唐突すぎるし、
とんでもないことすぎるし
丁重に断った

何より事案である

えーそんなこと言わずに
お願いします！

私さみしくて
おじさんと遊びたい！

ぎゅっ

ぼくはOKした

おじさんの
家に行っても
良いですか

ぐいぐい押して
来るのには
弱かった

こんな機会一生無いだろう

遊ぶくらい良いだろう

ゆる、飲み物
催促しちゃって
すいません

おじさん
つよい！

神に誓って何もする気はなく

普通に楽しく遊んで
しまっ……た……

……ズズズ

!?

いつの間にか
寝てしまっていた？

寝てしまう要素なんて
何もなかったのに!?

ん♡
痛♡
痛いけどお♡
えへへ♡

それよりも
味わったこともない
とてつもない快感が
下半身から
伝わってきている



あは♡

あはははは♡

ばかみたいにな
たくさん
出しちゃってん♡

んふふ♡

いっぱいあい♡
どろどろだね♡

あ♡

どろどろ♡

もお♡

私を妊娠させたいのぉ♡

まあおじさんみたいにな
ザコ精子で妊娠なんて
するわけないけどね♡

わかってると思うけど
誰かに話したら大変な
ことになるからね♡

だめだよ♡
そんなことしちゃ♡

これからおじさんは
私のおもちやなんだから♡

おら♡

聞いてんのか？

ぺちん

ぺちん

さて♡

じゃあ♡
じゃあ♡

実はお弁当作って
来たのよ！

おじさんどうせ
ザコでニートなんだから
ひどい食生活
してるでしょ！
ありがたく
食べなさい！

じゃあ
帰るからね！

後、家の中
ちよっと汚いよ！
まったく
普段からお掃除
してないでしょ！

明日また来てお掃除
手伝ってあげるから！

じゃあ、また明日
ばいばい！

はい…

え？

[illegible]

?

良親とおしも仲が
かった



ぼくの両親が
共働きで帰っても
留守しがちなことも
あり、幼なじみの家で
預かってもらって
遊ぶことも多かった

そのためずっと
ぼくは彼女を
家族のような
視線で見ている

幼なじみは多くの目から見ても可愛かった

性格も真面目で優しくない
非の打ちどころがない

…と田んぼでいた

ある日遊びに行ったとき
彼女は興奮した様子で言い放った



○○ちゃん！わたし
凄いと発見しちゃったー

「こころ……おまたを
ぐりぐりするとね」



たゞ、

すごく気持ちいいの！

あ

2

ほら見て！

---rrr---



11



!?



1

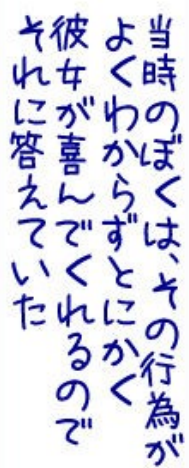


5
1
1
♡

おまた

おまち

ぼくにこの「行為」を
せがむようになっていた



幼なじみは、その整った容姿を快楽に歪ませ、とても嬉しうにしていたことを記憶している



しかし、その行為は
長く続くことはなかった

「もうやめようかな」と
ある日幼なじみがあやあや
と言ってきたのだった

今思うと、恐ろしくは
親にでも何か言われたの
かもしれない

（ぼくへの言及がなかった
ので「行為」のことは
喋ってはいないみたいだった）

それから
数年たった

幼なじみはその端正な容姿と（胸も大きくなり）
真面目で優しい性格でクラスからも大人気の存在だった

ぼくたちは仲こぎ悪くなってはいないが
前と同じ頻度で遊ぶことは無くなった

クラスでも
男女別々の
友達ができ

「あの行為」のことは
無かったことのように
過ぎていった

そしてある日の授業、
男女で教室が分かれて
保険の授業をする
機会があった

男女の体のしくみ

男女の体、性行為、
などなど……

ある程度ネットや本、
友達との雑談などで
知っている知識だったが、
こうして聞くと生々しい

なんとなく幼なじみの
ことを思う

きっと彼女も似たように
「はいはい」と聞いているの
だろうなあ

その日帰ってすぐ、
玄関チャイムが鳴った

両親は共働きで、
留守なのでよくが
玄関まで向いて、
ドアを開けた

きんには

甘い匂いを漂わせ、
上気した顔の
幼なじみが立っていて

あの…

あの…

〇〇ちゃん…

私、今日、わかつちやったんだ…

私が本当にしたいこと…

ずっと前から続いていた
むずむずを止める方法…♡

僕は幼馴染の匂い立つ体を前にして、
衝動を抑えきれぬ訳がなく…

毎日毎日、その「方法」を続ける
ただれた日々を送ることになった

でもずっと…

その「方法」を

このまま

続けるのは

「ため」だと

思った

彼女が僕を

どう思っ

ているかは

もうどうでも

いいことだ

僕が彼女を

どう思っ

ているかだ

僕はずっと

昔から、

彼女を…

性に多感な時期

よくわけたが、歯止めが効かなかった。

幼なじみは
もう待ちきれない
というくらいばかりの
期待の顔でばくの
ちんこを凝視して
いた

[illegible][illegible][illegible]